

特集=これまでも、これからも聴き続ける愛聴盤 (CD & DVD)

特別企画=2013年に来日する演奏家たち

音楽現代

The Ongakugosha

Vol.43

No.2

February

クラシック音楽誌

特集

これまでも、これからも

聴き続ける愛聴盤

(CD & DVD)

特別企画

2013年に来日する演奏家たち

鍵盤楽器奏者、弦楽器奏者、室内合奏団、歌手、他

インタビュ

マッシモ・ジオルダーノ、

井上道義、

尾高忠明、

小森谷巧、他

▼オペラ劇場あらかわバイロイト第4回ワグナー音楽祭「ラインの黄金」

あらかわバイロイトのリングも遂に3作目。前回の「黄昏」に引き続き、今回は最初に還り序夜「ラインの黄金」が上演された。別配役による23日から25日までの4公演。オペラ監督田辺とおるがアルベリッヒによる2公演務めたが、やはりこういう性格的な役は抜群に上手い。オケはT I A A フィルで音楽総監督クリスチャン・ハンマーが3回、佐々木修が1回指揮した。さらにアニメ「エヴァンゲリオン」で有名なあのガイナックスの山賀博之がオペラ界に進出し、演出と翻訳を務めるということ。「あらかわの黄金」は事前に各方面から大きな注目が集まっていたのである。まず前奏曲からコンドルズのダンスがあり水の精を表現しているようにも思われたが、何と言っても舞台上方に設置された直径7メートルの「リング」がユニーク。普段は何の変哲もないただの白い布のスクリーンだが、ここに様々な映像が投射され、何と字幕までここに映し出された。ことにラインの乙女たちの場面では映し出される台詞が水中をアブクが

浮かび上がっていくようにも見え、全てがここから生み出される一種のタイムトンネルのようなイメージ。アルベリッヒが隠れ頭巾で変身する大蛇やカエルは頭上の「リング」にお手のもののアニメが投影された。山賀はこれが初のオペラ演出ということだったが、これほどキャラの立つ演出はなかった。ことにローゲは元々アニメ調キャラクターのせいが存在感があり、唯一ヴォータンとアルベリッヒが直接対決を行うだけに直截的で暗さのまだ少ない「黄金」に相応しいフレッシュで楽しい演出。ハンマーの薫陶よろしきを得たT I A A フィルの音が凄みと重厚さをグンと増したことも相まって、今までの公演とは段違いの出来。田辺をはじめ歌手陣も大健闘で、佐々木の回もハンマーにおさおさ引けを取らぬ要素所を締めた的確な指揮ぶりが光った。終演後ただの白い布に戻ったリングを見ると夢から覚めたように感じられた。(11月23 & 24日、サンパール荒川)

(浅岡弘和)